

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨／アンケート	回答などの要旨
<b>【牛牧】 6月19日開催</b>						
牛牧	1	産業課	湯ヶ洞・御大	意見	湯ヶ洞で素泊まりの割引プランを提供されていたことがあり、それを利用して柿の手伝いをする方々が泊まっていたという話を聞いた。それを復活して欲しい。柿の手伝いに来ていただく方々の宿泊施設が不足している。個人の家で対応するのは大変なので宿泊施設について考えて欲しい。	泊まる場所が無いという話は他に営農支援に入っただいている方からもお聞きしています。湯ヶ洞の割引の可否については支配人とも話をしていますが、湯ヶ洞の改築を予定しており、その期間は難しくなります。民泊が3件ありますが、それだけでは部屋数が十分ではありません。町としてはホテルや旅館のような宿泊施設の誘致と、もっと簡易な泊まれる場所の誘致をし、そういった場所で宿泊いただけるよう検討していきます。
牛牧	2	建設課	道路の維持管理	意見	毎日上段道路を通っているが、植栽を外した後の状態が良くない。擁壁が外れている箇所がある。何とか良くするともっと素晴らしい上段道路になると思う。	特にカーブのきついところはブロックが外れるというのがあり、その都度建設課で対応しています。緑豊かなところに植栽してもということで植栽を外したが、その後手を何も加えていないので、来年度以降計画的に何年かかけて歩道を広げるという形で対応できるように計画していきたいと思います。
牛牧	3	健康福祉課	結婚相談	文書	婚活パーティの開催は如何か？	従前の結婚相談員による訪問・相談や婚活のための集いの機会の創出から、気軽に相談できるマッチングシステムが活用されており、「結婚」へのアプローチが変化しています。現在、令和4年1月から「新ながの結婚マッチングシステム」が稼働、携帯から気軽に申し込みが可能になっており、町でも社協が事務局となり進めています。個々の多様な価値観を共感しつつ、婚姻も人生の選択肢の一つであると考え人への相談等を継続していきます。
牛牧	4	産業課	農業振興	文書	農業を継続していくには、後継者問題はもちろんだが設備等の更新などで資金が必要になる。今回の地域計画を含め補助金や前向きな情報をどんどん発信して欲しい。	J A等の生産団体とも連携しながら、営農支援に役立つ様な情報の発信に努めてまいります。
牛牧	5	環境水道課	太陽光発電	文書	脱炭素で大型ソーラー発電も検討してください。	町として国の交付金を活用しながら、公共施設への太陽光発電設備設置を進めています。令和5年度には町民体育館屋根に太陽光発電設備を設置しました。令和6年度には山吹サッカー場に太陽光発電設備と蓄電池を設置する計画です。
牛牧	6	産業課	鳥獣害対策	文書	サル・クマ・イノシシ・カラス等に対する方法は？	町は有害鳥獣駆除対策として有害鳥獣駆除班を編成して、罠や檻を設置して駆除対応に従事していただき、鳥獣戦隊オウンジャーにサルやカラス等の追い払い用に動物駆逐用の煙火の支給をしています。また、サルの被害対策として、里地において緩衝帯整備に取り組んでいます。鳥獣被害が軽減されるように今後も対策に努めます。
牛牧	7	産業課	観光	文書	りんご、梨の花を見るというツアーはどうでしょうか？都会の人はりんご、梨の花を知らないと思います。アンズの里のように観光にどうかあと思っています。	町では昨年、観光協会が専任職員を配置して発足しました。今年は、以前から行っていた果物狩りツアーを観光協会が担当し、多くの方に高森町に訪れていただいています。いただいたご意見は、観光協会でも検討してまいります。
牛牧	8	産業課	農業振興	文書	営農はマンパワーがないとできません。皆が動ける内に進めると良いと思います。	現在策定を進めている地域計画は、およそ10年後の地域の農業について、今のうちに備えておくための計画になります。いただいたご意見のとおり、将来のために地域の皆さんとともに検討を進めていきます。
牛牧	9	建設課	道路の維持管理	文書	牛牧区内の道路、側溝の老朽化が進んでおり、都度補修は行ってくれるが根本的な改修を、年度計画を立て行って欲しい。	町内道路、水路とともにその延長は非常に長く、計画的に実施するにしても根本的な改修を行うには長い年月と多くの財政負担が必要となります。そのため、補修箇所の修繕を行っていく方法についてはご理解をいただきたいと思います。
牛牧	10	総務課	まちづくり全般	文書	自分の世代(50代)の子ども、孫以降の世代が住みたいと思える場所にしていきたい(してほしい)	高森町で生まれ育った子どもが町に愛着を感じ、進学などでいったんは町を離れたとしてもいずれは高森町に戻る。仮に、戻れなくても何かしらの形でまちづくりに関わることを目指し、町では地域人材教育をまちづくりの柱に据えて取り組んでいます。地域の皆様も子どもたちの育ちにどのような形でも関わりを持っていただきたいと思います。

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨／アンケート	回答などの要旨
牛牧	11	産業課	観光	文書	都市部にも魅力はあるが、田舎にも良さがたくさんあると思うのでその魅力を発信したりしてほしい。	町では昨年、観光協会が専任職員を配置して発足しました。観光協会では、独自のInstagramも立ち上げておりますので、高森町の自然や農産物等の魅力を多くの皆さまに伝えるように SNS 等を活用して情報発信に努めてまいります。
牛牧	12	建設課	道路の改良	文書	ハーモニックロードを整備して、ツアーオブジャパンの練習場にする、ランニングコース(トレラン等)にする(上り下りがあるのでトレーニングになる)。	ご意見として承ります。
牛牧	13	産業課	土地利用対策	文書	人口減少にともなって、農業のための土地、商業地域、そして人が住む地域の集約化は必要と考える。特に人が住むことについては、高齢化していく事を中心に考えることも必要と思う。長屋造りのような集落にしてはどうか？それでも独りで死んでいく人はいると思うが。	今回のまちづくり懇談会では、農業の地域計画をテーマに開催しましたが、地域のことをみんなで考えるきっかけになったかと思います。
牛牧	14	総務課	若者の活躍	文書	今日の会議に参加していない後継者、若い人の意見が必要と思う。その人たちに将来を任せたいと思うが、移住してきた人の意見も聞いてみたい(民生委員で廻っていると)。	地区ごとのまちづくり懇談会では役員の方が主体になりがちです。地域の企業に勤める若手の職員がまちづくりを考える「南信州みらい創生塾」を開催して、異業種の皆さんが交流をしながらまちづくりの意見交換を行っています。また、小学生から大学生までのメンバーによる「南信州 S B P クラブ」では、子どもたちが地域の課題をビジネス手法で解決していく取り組みを行っています。このような皆さんの取り組みも情報発信していきます。
牛牧	15	環境水道課	ごみ処理・減量化	文書	ゴミ出しが大変で今は 2 人暮らして良いが、1 人になった時に自宅前に燃えるごみを取りにきてほしいと思っている(実はそうやってもらえと思い東京からきたのだが…)とのこと。ゴミは課題です！！	ごみを出すのが難しくなった場合は、町包括支援センターにご相談ください。また、今年度からプラスチック資源収集は、毎週の収集に変更して利便性を向上しました。
牛牧	16	総務課	防犯対策	文書	湯ヶ洞線下市田地区までは街灯があるが、牛牧地区に入ると 1 本も無い。牛牧で一番近い JR 駅が元善光寺駅で、学生が利用することが多い。街灯の設置を希望します。	街灯設置は地域の皆さんで検討し設置していただいております。他の区への設置など地域をまたぐような場合には地区と町が調整の上設置しています。いずれの場合でも設置について地区と意見交換したいと思いますので、地区計画においてご提案ください。
牛牧	17	産業課	農業振興	文書	現在の農地の土手が高く法長も長く草刈りの管理がきつい。非植生ののり面にしたいが補助金などのシステムが欲しい。	草刈りについては、ラジコン草刈り機などの機械化の補助金がございます。また、地域計画に位置付けられた農地については、国が紐づける補助金を検討中との一部報道もありました。国の動向も注視しつつ、活用できる補助金がありましたら情報発信に努めてまいります。
牛牧	18	建設課	道路の維持管理	文書	上段道湯ヶ洞の橋梁補修と飯田市が行っていて橋面の舗装は良くなったが座光寺側取付部に大きな水溜りができるのが改善されていない。飯田市へ要望してください。	6/28 現地確認するとともに、同日、飯田市建設部維持管理課に要望しました。
牛牧	19	産業課	農業振興	文書	中部なので全国へのくだものの出ていく所で全国ではおそい産地をいかして売っていければ？	地域特性を強みとして活かす視点は重要です。ご意見として承りました。

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨／アンケート	回答などの要旨
牛牧	20	税務会計課	その他	文書	相続登記を3年以内にしなければならなくなったが、自分で登記したいと思うが、町のサポート体制をお願いしたい。	相続登記に対する町のサポート体制については、考えてはいません。 的確なアドバイスを得るためには、相談内容によって窓口を選ぶのがよいと思われます。自分で手続きをするために、必要書類などについて聞きたい、登記申請書の書き方等を知りたい場合は、法務局の窓口にお問い合わせください。（高森町に不動産をお持ちの方は、長野地方法務局飯田支局：22-0014）
牛牧	21	総務課	まちづくり懇談会	文書	今回の懇談会は本当に良かったと思います。町の職員さんも対応が良かったです。	地域の皆さんも自分事として熱心に意見交換いただきありがとうございました。
牛牧	22	産業課	農業振興	文書	JA のきゅうり、柿の研修生を空き家の内含め卒業後町であっせんをしてはどうか？	研修終了後に町に就農された者が4名、地域起こし協力隊農業研修生として、3名が研修を受けています。関係機関と連携しながら、町も含め南信州地域全体で就農を目指す新たな担い手の受け入れに積極的に取り組んでまいります。
牛牧	23	産業課	農地の保全と活用	文書	空地はともかく柿を植え、育つまでに借者を探す事業。	市田柿発祥の里として、持続可能な生産体制づくりを関係者と連携し支援したいと思います。
牛牧	24	産業課	農業振興	文書	同居の家族(農業後継者となる者)の家には何かしらの助成がほしい。	農業後継者でも、規模拡大の他、一定の条件を満たせば補助金の対象になる場合もあります。町でも意欲ある方を応援する仕組みを検討してまいります。
牛牧	25	総務課	まちづくり全般	文書	ジェラートの発掘は早く検討してほしい。市田柿ジェラートは高森に来て食べてほしい。地域計画には市田柿ジェラートもからめて。	講演会をきっかけとして、意欲ある方が関わっていただけるよう取り組んでまいります。
牛牧	26	環境水道課	上水道	文書	道の計画、下水道、上水道基本きつくていかないと農業ほぼ無理。	上下水道の計画については、持続可能な運営が図れるよう、常に全体計画の見直しを行い、健全経営に努めています。今年度から来年度にかけて、上下水道料金について、改定検討を行う計画です。